



日本取締役協会
YEAR 2009

2009 年度 会員総会	2
委員会・研究会活動概要	3
フォーラム・セミナー	16
研修講座	17
協会外への PR 活動	18
一般社団法人 日本取締役協会について	18

2009 年度 会員総会

第7回定時社員総会が、2009年5月14日(木)16時00分より帝国ホテルに於いて開催されました。その概要につきましてご報告いたします。

最初に宮内義彦会長(オリックス会長)が議長となって、会長所信表明および議案の審議が行われました。

議案：第7期計算書類承認、理事1名選任、理事および監事の報酬額決定、事業計画、収支および予算の承認、規約上の機関の構成員(幹事)の選任。

報告事項：独立取締役委員会、新しい金融の動きを理解する委員会、日本の経済発展とコーポレート・ガバナンス委員会(全て仮称)の設置。協会規程改正。内部統制研究会新座長就任。

引き続き、ご出席の委員会委員長・研究会座長から、活動予定について発表いただきました(登壇順)

- ・ 新美春之・企業経営と会計委員会委員長(昭和シェル石油 名誉会長)
 - ・ 弦間明・企業倫理委員会委員長(資生堂 相談役)
 - ・ 出井伸之・エマージングカンパニー委員会委員長(クオンタムリープ 代表取締役)
 - ・ 原 良也・イノベーション・マネジメント委員会委員長(大和証券グループ本社 最高顧問)
 - ・ 井口武雄・中堅・ファミリー企業委員会委員長(三井住友海上火災保険 シニアアドバイザー)
 - ・ 市野紀生・内部統制研究会座長(東京ガス 取締役会長)
 - ・ 加藤丈夫・コーポレート・ガバナンス委員会(仮称)委員長(富士電機ホールディングス相談役)
- (18時からの懇親会でごあいさつ)

恒例の特別講演は、大田弘子・政策研究大学院副学長に「いかにして経済危機を乗り越えるのか」というテーマでお話をうかがいました。

懇親会では、乾杯のご発声を荒蒔康一郎・副会長(キリンホールディングス 相談役)に頂戴し、おいしいワインとシャンパンをご出席のみなさまに楽しんでいただきました。また、大楠泰治・新理事(クレディ・スイス証券 マネージング・ディレクター 投資銀行本部長)にもごあいさついただきました。

委員会・研究会活動概要

企業倫理委員会

委員長： 弦間 明 (資生堂 相談役)

共同委員長： 荒蒔 康一郎 (キリンホールディングス 相談役)

副委員長： 小林 俊治 (早稲田大学商学部 教授)

副委員長： 松山 遙 (日比谷パーク法律事務所 パートナー弁護士)

2009/04/03 第34回

[講師] 京都大学大学院地球環境学堂 教授 松下和夫氏

[テーマ] 低炭素社会と企業の役割: グリーンニューディールを考える◇加速化する地球温暖化の脅威
◇国際的取り組み: 京都議定書、長期目標◇グリーンニューディールの意味するもの◇わが国の地球温暖化対策

2009/06/05 第35回

[講師] 株式会社損害保険ジャパン 理事 CSR・環境推進室長 関正雄氏

[テーマ] 社会的責任規格ISO26000の概要と動向◇CSRからSR (SR: Social Responsibility) へ◇企業はどう受け止めるべきか

2009/08/28 第36回

[講師] 株式会社イトーヨーカ堂 取締役 稲岡稔氏

[テーマ] ISO26000の社会的・経済的インパクト◇CSR(SR)の意味と社会的背景—欧・米・日◇ISO26000の課題と使命◇CSRをめぐる論議の行く手にあるもの—特にわが国で

2009/10/16 第37回

[講師] ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 ビジョンケアカンパニー 代表取締役プレジデント 大瀧守彦氏

[テーマ] ジョンソン・エンド・ジョンソン 我が信条 (Our Credo) に基づいた企業経営の実践◇事業内容◇基本理念Our Credo「我が信条」◇「我が信条」を機能させる仕組み◇事業と倫理: ヘルスケアコンプライアンス◇様々な活動◇社内の取組

2010/03/30 第38回

[講師] 三井物産株式会社 取締役会長 槍田松瑩

[テーマ] 過去に学ぶ三井物産のコンプライアンス—良い仕事◇歴史と創業者の思い◇事業の変遷◇過去の教訓◇「良い仕事」に向けた取り組み—制度面での対応、社員の意識改革

■企業倫理委員会ワーキンググループ

2008/5/12 (月) 10-12、7/21 (月) 10-12、8/18 (月) 10-12、10/21(火) 10-12、11/17 (月) 13-15、
2009/4/27 (月) 13:30-15:30、6/8(月) 13:30-15:30、7/13(月) 13:30-15:30、9/28(月) 17:30-19:00
@早大、11/30(月) 17:30-19:30@早大、12/10 (木) 15-16:30 勉強会、12/18 (金) 15-17 座談会

書籍「大正に学ぶ企業倫理～激動する時代と新たな価値観の芽生え」



弦間明、荒蒔康一郎、小林俊治 (監修) 日本取締役協会 (編集)

価格 2,940 円

生産性出版 2010年2月26日発売

目次：

- 第1章 大正時代の企業と社会
- 第2章 成金の盛衰と実業家のヒューマニズム
- 第3章 自動車産業等国産化の芽生えとその背景
- 第4章 大正時代の企業経営にみるイノベーションと企業倫理
- 第5章 大正時代の野村財閥
- 第6章 根津嘉一郎と東武鉄道
- 第7章 大正時代の商社
- 第8章 座談会—大正に学ぶ企業倫理

エマージングカンパニー委員会

委員長： 出井 伸之（クオンタムリープ 代表取締役）

副委員長： 楠木 建（一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 准教授）

主査： 今野 由梨（ダイヤル・サービス 社長）

2009/04/08 第22回

[講師] メリルリンチ日本証券株式会社 投資銀行部門 投資銀行部 顧問 佐藤文昭氏

[テーマ] グローバル資本主義のゆりもどしとエマージングバブルの崩壊—日本の電機産業の本質的課題と再編の行方

2009/06/03 第23回

[講師] 三菱 UFJ 証券株式会社 エクイティリサーチ部長 チーフエコノミスト 兼 日本株ストラテジスト 佐治信行氏

[テーマ] 2009・2010年マクロ経済の焦点～循環的な景気底入れが近づくものの、二つの先行き懸念

2009/07/30 第24回

[講師] 株式会社グローバルMAパートナーズ 代表取締役会長 陳野浩司氏

[テーマ] エマージング企業の資金調達の実況◇金融機関を巡る規制の変遷◇資金調達手段の変遷◇資金調達手段の多様化◇昨今の市場環境・経済環境及びその影響◇エマージング企業の円滑な資金調達（課題と留意点）

2009/10/13 第25回

[講師] 株式会社イー・ウーマン 代表取締役社長 佐々木かをり氏

[テーマ] ダイバーシティ経営とは～イー・ウーマンの視点から～◇「大衆（マス）」から「スマートコンシューマ」へ◇国際女性ビジネス会議◇イー・ウーマン◇ダイバーシティの基礎づくり◇イー・ウーマンリーダーズの知恵の活用◇賢い消費者＝スマートコンシューマとは◇

2009/11/09 第26回

[講師] 一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 准教授 楠木建氏

[テーマ] カテゴリー・イノベーション：脱コモディティ化の論理◇価値と競争の次元：見えるか見えないか◇価値次元の転換の落とし穴◇価値次元の所在と可視性◇可視性のわな◇見えない次元を「見る」・「見せる」◇「ストーリー」が大切

2010/01/14 第27回

[講師] ソースネクスト株式会社 代表取締役社長 松田憲幸氏

[テーマ] ソースネクストの創意工夫◇事業概要◇創意工夫の内容◇今後の展開

2010/02/25 第28回

[講師] 日本電鍍工業株式会社 代表取締役 伊藤麻美氏

[テーマ] 事業再生を通じた企業経営のあり方◇創業◇事業多角化と撤退◇継承の経緯◇黒字化までの道のり◇今後の課題（人材育成、サステナビリティ、海外進出、新事業の開発）

2010/03/17 第29回

[講師] 奥野総合法律事務所 弁護士 所長 奥野善彦氏

[テーマ] 転ばぬ先の杖◇仕事と悦び◇企業活動と社会性◇偉大な弁護士たち◇経営理念の体得◇企業の発展のために◇そもそも弁護士とは

イノベーション・マネジメント委員会

委員長： 原 良也（大和証券グループ本社 最高顧問）

副委員長：竹内 弘高（一橋大学大学院国際企業戦略研究科長 教授）

2009/06/01 第17回

[講師]一橋大学イノベーション研究センター 准教授 青島矢一氏

[テーマ]個別化と汎用化:技術進歩がもたらすソリューション事業の台頭と日本企業の競争力◇デバ
イスプッシュ型への転換と日本企業の苦悩◇境界変更型イノベーションの必要性◇日本企業にとつ
ての選択肢と付随する問題

2009/07/16 第18回

[講師]ブックオフコーポレーション株式会社 代表取締役社長 佐藤弘志氏

[テーマ]カリスマ後の、組織によるイノベーション◇自己紹介◇ブックオフの強さ◇2年間の軌跡

2009/09/07 第19回

[講師]東海バネ工業株式会社 代表取締役社長 渡辺良機氏

[テーマ]東海バネの『競争しない!』競争戦略◇業界ポジション◇何をやって何をやらないか—戦略
的ポジション◇価値を作る活動とIT活用

2009/11/16 第20回

[講師]マニー株式会社 執行役専務CFO 高井壽秀氏

[テーマ]世界一の品質を世界のすみずみに—「ベストプラクティスの追求」と「戦略的ポジショニン
グ」の融合◇世界一か否か会議◇開発・生産・営業の仕組み◇経営理念・企業文化

2009/12/16 第21回

[講師]オイシックス株式会社 代表取締役社長 高島宏平氏

[テーマ]食べるひと、つくるひと、つなぐ私たち◇O i s i x 企業理念および事業内容ご紹介◇事業
についての詳細説明◇O i s i x 立ち上げ期の話

2010/03/19 第22回

[講師]株式会社ユニクロ 取締役COO 大竹直樹氏

[テーマ]ユニクロの成長戦略と課題◇ミッション&ビジョン◇グローバルの中で◇成長イメージ◇
基本戦略◇成長戦略◇経営課題◇CSR活動

2010/06/03 第23回

[講師]株式会社パーク・コーポレーション 代表取締役 井上英明氏

[テーマ]青山フラワーマーケットの5つの資産◇常にチャレンジし、自分を向上させていく創業精神
◇” Living Flowers every day” ◇お客様、ショップはメインの組織

[講師]一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 教授 大藪恵美氏

[テーマ] 戦略をイノベーションする：ベストからユニークへ

◆ 2010年6月にて、活動終了。

企業経営と会計委員会

委員長： 新美 春之（昭和シェル石油 名誉会長）

副委員長： 奥山 章雄（公認会計士）

2009/04/14 第15回

[講師] 奥山章雄 副委員長

[テーマ] 2009年度の活動を計画するにあたり◇2007年＝企業経営に大きなインパクトを与える会計基準 —国際会計基準(IFRS)は何かを勉強◇2008年＝企業経営サイドからの意見を勉強 —前向きにとらえる会社では、会計基準を重要経営課題として見ている◇2009年＝急速なテンポでIFRSの実現が見えてきた—IFRSの実務的影響を含めた理解を進める

2009/05/20 第16回

[講師] 早稲田大学大学院 会計研究科 教授 米山正樹氏

[テーマ] 国際会計基準審議会(IASB)の利益観—概念フレームワークの日欧比較◇IASBの基本思考◇資産・負債観と収益・費用観の主要な争点◇利益操作の排除と資産・負債観◇IASBの主張が抱えている問題◇新たな「概念フレームワーク(案)」の特長◇会計基準の国際的な統合化のための手法：争点は何か

2009/07/14 第17回

[講師] 金融庁 総務企画局 国際証券調整官 兼 国際会計調整室長 井上俊剛氏

[テーマ] 国際会計基準の取り扱い◇国際会計基準を巡る動向◇我が国における国際会計基準の取扱いに関する意見書(中間報告)

2009/09/14 第18回

[講師] あらた監査法人 代表執行役 初川浩司氏、同 代表社員・IFRSオフィス担当 木内仁志氏

[テーマ] ヨーロッパにおける国際会計基準の適応状況から、日本企業が考慮すべき課題を学ぶ◇IFRS導入の動き◇ヨーロッパにおけるIFRS導入状況と日本企業の想定される課題◇課題に対応したIFRS導入例

2009/10/29 第19回

[講師] あらた監査法人 代表執行役 初川浩司氏、同 代表社員・IFRSオフィス担当 木内仁志氏

[テーマ] ヨーロッパにおける国際会計基準の適応状況から、日本企業が考慮すべき課題を学ぶ 第二回：原則主義の適用◇原則主義の適用が及ぼす影響◇原則主義への対応例(研究開発費)◇原則主義への対応例(固定資産)

2009/12/08 第20回

[講師] 企業会計基準委員会 委員長 西川郁生氏

[テーマ] IFRS導入とコンバージェンスの課題◇コンバージェンスの動向◇日本企業へのIFRS適用に関する検討◇ASBJの取り組み◇IASB/FASB MOU 中長期プロジェクト◇

2010/02/12 第21回

[講師] 日本たばこ産業株式会社 経理部長 見浪直博氏

[テーマ] JTにおけるIFRS導入に向けた取組み◇JT連結決算の概要◇IFRSの早期適用に向けた取り組み◇

ディスクロージャー委員会

委員長： 東 哲郎（東京エレクトロン 会長）

共同委員長：清水 雄輔（キッツ 最高顧問）

副委員長： 川北 英隆（京都大学大学院経営管理研究部 教授）

2009/04/23 第15回

[講師]東京ガス株式会社 常務執行役員 IR部長 吉野和雄氏[テーマ]東京ガスのIR活動◇活動の概要・特徴◇IRとは何か◇財務戦略と株主配分方針◇外部評価

2009/05/18 第16回

[講師]企業年金連合会 年金運用部 コーポレートガバナンス担当部長 木村祐基氏

[テーマ]年金運用の立場からみた日本企業のIRへの期待◇わが国年金基金の資産運用◇企業年金連合会の資産運用◇投資家から見たわが国企業の問題点◇企業年金連合会の議決権行使基準◇日本企業に期待するIR—長期運用の視点から◇企業との対話◇《参考》ROEに関する考え方

2009/07/24 第17回

[講師]株式会社格付投資情報センター（R&I）特別顧問 原田靖博氏

[テーマ]ディスクロージャーと信用格付の役割～最近の市場変化と格付会社規制を踏まえて～◇ディスクロージャーの進展と格付けの役割◇格付けの役割◇格付会社の信頼確保に向けた取り組みと監督・規制の動き

2009/09/09 第18回

[講師]富士フイルムホールディングス株式会社 経営企画部 IR室長 吉沢勝氏

[テーマ]富士フイルムのIR活動◇IR組織概要◇IR室 重点課題◇トップマネジメントによるIR◇ウェブサイト等

2009/11/06 第19回

[講師]日本アイ・ビー・エム株式会社 専務執行役員 管理部門担当 リンドン・ロバートソン氏

[テーマ]IBMにおけるIR活動◇日本・米国における情報開示環境◇コミュニケーション◇情報開示を支えるCapability

2009/12/11 第20回

[講師]株式会社プロネクサス IR推進部専任部長 細川修一氏

[テーマ]何を語るべきか～IR優良企業に学ぶ～◇アナリスト・機関投資家向けのIR活動について◇個人投資家向けのIR活動について

2010/02/18 第21回

[講師]京都大学大学院 経営管理研究部 教授 川北英隆氏

[テーマ]ディスクロージャー委員会報告書の公表に向けて◇報告書の構成イメージ

◆ 2010年3月にて、活動終了。

※ （2009年3月まで 委員長：井上雄二・リコーリース 社長）

中堅・ファミリー企業委員会

委員長： 井口武雄（三井住友海上火災保険 シニアアドバイザー）

共同委員長：小野 俊夫（日さく 社長）

副委員長： 穴戸 善一（一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 教授）

2009/04/07 第 18 回

[講師]コクヨ株式会社 代表取締役社長 黒田章裕氏 [テーマ]「カスの商売」から 100 年～コクヨの過去・現在・未来～

2009/06/04 第 19 回

[講師]株式会社ディスコ 代表取締役社長 溝呂木斉氏 [テーマ]価値観を中核とした経営

2009/07/08 第 20 回

[講師]株式会社ユーハイム 代表取締役社長 河本武氏 [テーマ]企業は人なり

2009/09/10 第 21 回

[講師]岡谷鋼機株式会社 代表取締役社長 岡谷篤一氏 [テーマ]運と縁

2009/10/09 第 22 回

[講師]株式会社プロネクサス 代表取締役社長兼 CEO 上野守生氏 [テーマ]専門性の追求と環境変化への対応

2009/12/03 第 23 回

[講師]株式会社印傳屋上原勇七 代表取締役会長 上原勇七氏 [テーマ]印傳屋の経営理念について

2010/01/28 第 24 回

意見交換会

2010/02/23 第 25 回

[講師]ICDA ホールディングス株式会社 CEO 向井弘光氏 [テーマ]自動車流通業ビジネスの経営革新)

2010/03/15 第 26 回

[講師]ヤマサ醤油株式会社 代表取締役社長 濱口道雄氏 [テーマ]醤油醸造 300 年 その歴史と今日の課題

独立取締役委員会

委員長： 富山 和彦（経営共創基盤 代表取締役 CEO）

副委員長： 落合 誠一（中央大学法科大学院 教授）

当委員会では、グローバルな市場競争の中で、日本企業が長期的、持続的に健全性を保ちながら発展すると同時に大きな過ちを起こさないために、「独立取締役」は何をすべきか、また何が必要かを、実際にその制度を導入している立場や、実際に社外取締役に就任している経験から議論を行っている。

2009年6月 中間提言「経営者の上司は誰か—独立取締役は企業の持続的発展を求める市場経済の理性の要請である」http://www.jacd.jp/report/090618_01report.pdf

2009年11月 「上場制度整備の実行計画2009」に基づく上場制度の整備等について意見書」提出
http://www.jacd.jp/report/091126_01report.pdf

2009/3/31 第1回

[講師] 経済産業省 経済産業政策局 産業組織課長 新原浩朗氏

[テーマ] 我が国のコーポレート・ガバナンスのあり方について◇主要論点: 社外役員の独立性、人数、ルールを定める際の手段の選択、ルールを決めた場合にどう機能させるか◇近時の見解◇社外役員の独立性とその在り方・人数

2009/04/13 第2回

[講師] 全国社外取締役ネットワーク 代表理事 田村達也氏

[テーマ] コーポレート・ガバナンスをめぐるいくつかの論点◇金融危機の発生と取締役の責任◇監査役制度の改革により日本企業のコーポレート・ガバナンス問題は解決したとの主張をどう考えるか◇コーポレート・ガバナンスは制度の問題か、市場慣行の問題か◇会社は誰のものか◇取締役会による業務執行と経営監督◇機関投資家行動の二面性

2009/05/01 第3回

[講師] 東京経済大学 経営学部 教授 若杉敬明氏

[テーマ] 現代社会とコーポレート・ガバナンス◇基本概念の整理◇ガバナンスに関する誤解◇社外取締役にに関する誤解

2009/05/19 第4回

[講師] 日本監査役協会 常任理事 児島政明氏

[テーマ] コーポレート・ガバナンスと社外監査役◇コーポレート・ガバナンスにおける監査役のポジション◇社外監査役は、誰の利益を優先すべきか◇社外監査役は、形骸化していないか◇社外監査役は、複数であるべきか◇社外監査役の人材◇非常勤社外監査役の情報と知識

2009/05/26 第5回

[講師] ユージン・パシフィック 代表 鹿毛雄二氏（元企業年金連合会 常務理事）

[テーマ] 機関投資家から見た、社外取締役問題の論点整理 ◇機関投資家にとってのコーポレート・ガバナンス業務の位置づけ◇議決権行使の考え方◇社外取締役は市場の要求◇株主とは誰か、機関投資家の声の誤解—「モノ言う株主」には二種類がある◇社外取締役制度運営上の課題◇グリーン空間のコーポレート・ガバナンス論

2009/06/12 第6回

[内容]独立取締役制度に関する中間提言 検討

2009/10/01 第7回

[講師]早稲田大学 商学大学院 教授 中村信男氏

[テーマ]独立取締役の制度化に対する日本コーポレート・ガバナンス・フォーラム(JCGF)の考え方と検討課題について—経団連との考え方の違い等も踏まえて—◇経団連・主要論点中間整理の概要◇経団連・主要論点中間整理に対するJCGFの意見◇JCGFの目指す方向と残された課題

2009/11/24 第8回

[講師]東京大学 大学院経済学研究科 准教授 柳川範之氏

[テーマ]社外取締役、コーポレートガバナンスに関する経済学的整理◇コーポレート・ガバナンスは誰のために必要か—株主か、企業か◇一律規制が必要か◇なぜ積極的なアピールとならないか◇大きく変わる世界の構造◇社外取締役に関する私見

2010/01/27 第9回

[講師]政策研究大学院大学 副学長 大田弘子氏

[テーマ]日本の成長戦略～日本経済の弱み、生産性の向上◇グローバル化の課題～海外から日本への直接投資加速など◇

2010/03/29 第10回

[講師]オムロン株式会社 取締役副会長 立石文雄氏

[テーマ]オムロンにおけるコーポレートガバナンスと独立取締役◇企業概要◇企業理念と企業哲学◇オムロンのコーポレート・ガバナンスの経緯と目的・基本方針◇コーポレート・ガバナンスの具体的取組み◇「独立取締役」をめぐる議論に対するオムロンの対応◇今後のオムロンのコーポレート・ガバナンスのあり方

新しい金融の動きを理解し戦略を考える委員会（通称：金融委員会）

委員長： 江原 伸好（ユニゾン・キャピタル 代表取締役パートナー）

副委員長： 川本 裕子（早稲田大学 大学院ファイナンス研究科教授）

会合の目的

- ・ 資金調達や運用においても、相対取引から市場対応へと変化する中、過度の利益追求の結果が、今回の金融危機を引き起こした原因の一つとも指摘されています。
- ・ 今、米国経済で何が起ころうという方向に向かうのか、EC やアジアにはどのような影響があるのか、今後の金融の動きとガバナンスとの関係についても考えていきたいと思えます。
- ・ 金融市場が混乱し、一部のビジネスモデルが崩壊する中、金融業の再定義が必要になっています。各業態ごとの挑戦とチャンスを生アヒングと討議を通じて探り、再生の方向を検討したいと思います。

参加者

- ・ 当協会会員（公開企業の経営者・経営幹部、弁護士、会計士等）の他、機関投資家の協会への参画を促し、企業のガバナンス向上への貢献を模索する。機関投資家側の参加意識の向上もめざします。

2009/04/09 第1回

[講師]株式会社東京証券取引所グループ 取締役兼代表執行役社長 齊藤惇氏

[テーマ]今回の金融危機と不況◇資本主義は、本当に修正しないといけないのか◇ステートキャピタル（国家ファイナンス）へ戻ること＝合理から非合理へ戻ること◇企業は、合理的・効率的に業績が伸びていくために、どんな規律が必要か◇制度や仕組み◇今後の展開

2009/05/21 第2回

[講師]株式会社三井住友フィナンシャルグループ 取締役社長 北山禎介氏

[テーマ]米国発金融危機の教訓とこれからの邦銀の方向性◇金融危機の回顧と現局面（震源地となった米国の状況）◇金融危機の背景・原因◇金融危機の現状◇金融規制の方向性◇邦銀の方向性

2009/05/22

金融関係企業メンバーによるランチミーティング（第1回）

2009/07/03 第3回

[講師]株式会社日本政策投資銀行 取締役常務執行役員 竹内洋氏

[テーマ]日本政策投資銀行の戦略と今後について◇企業理念◇II. 第1次中期経営計画「CHALLENGE 2010」～投融資一体型金融サービスの確立に向けて～CHALLENGE 2010◇金融危機対応業務について◇コーポレート・ガバナンス

2009/07/29 第4回

[講師]スパークス・グループ株式会社 代表取締役社長 阿部修平氏

[テーマ]機関投資家の立場から見た日本の金融の課題及びスパークスグループの戦略◇証券投資の機関化◇投資家層の拡大と資本市場の資産規模◇拡大する年金資産残高の推移/家計の金融資産残高◇グローバルなファンド資金の特徴◇日本金融を評価する三要素◇日本企業の成長フロンティア◇気候変動に対する世界の対応◇スマートグリッド構造に利用される技術

2009/09/25 第5回

[講師] 第一生命保険相互会社 代表取締役専務執行役員 麻崎秀人氏

[テーマ] 第一生命 株式会社転換の戦略◇会社概要◇株式会社化◇成長戦略

2009/12/04 第6回

[講師] オリックス株式会社 取締役 兼 代表執行役社長・グループCOO 梁瀬行雄氏

[テーマ] 日本におけるノンバンクの存在意義とオリックスの金融戦略について◇ノンバンクの存在意義◇オリックスの経営戦略◇事業多角化の歴史◇事業の再構築◇将来の成長機会

2009/01/13 第7回

[講師] 野村証券株式会社 執行役副社長 柴田拓美氏

[テーマ] 今後の金融規制の動向と金融機関のあり方◇金融危機の概要◇金融危機を受けた規制強化の全体像◇規制強化の影響と問題点◇野村グループの取り組み

2009/02/16 第8回

[講師] 富士電機ホールディングス株式会社 特別顧問 加藤丈夫氏

[テーマ] 機関投資家から見た日本企業のコーポレート・ガバナンスと株式市場について◇企業年金の資金運用◇企業年金連合会のコーポレート・ガバナンス原則◇投資家からわが国企業に期待したいこと◇機関投資家、議決権行使の考え方◇企業年金連合会の議決権行使基準◇コーポレート・ガバナンス論議混乱の背景

2010/03/16 第9回

[講師] 株式会社 チェンジウェーブ 代表 佐々木裕子氏

[テーマ] ワーキンググループ「金融界の持ち合い株式について」レポート検討

新しい金融の動きを理解し戦略を考える委員会ワーキンググループ（レポート「」作成）

2009/9/17（木）11:30-13:00、10/6（火）15-17、11/4（水）15-17、11/26（木）15-17、12/24（木）12-14、2/9（火）15-17

社会構造の変化とコーポレート・ガバナンス委員会

委員長： 加藤 丈夫（富士電機ホールディングス 特別顧問）

副委員長： 鹿毛 雄二（ユージン・パシフィック 代表）

委員会の活動目的

アメリカに端を発した金融危機が世界を駆けめぐり、社会情勢、経済情勢が大きく揺れ動くなかで、改めて企業のあり方が問われるようになってきている。

今回の不況は単なる景気循環の谷間ではなく、社会構造転換の節目と捉えるべきであり、それぞれの企業には時代の流れに沿った事業モデルの再構築が求められることになる。本委員会では、一年をかけて「新しい社会構造とはどのようなものか」を考えると同時に、改めて「新しい時代のコーポレート・ガバナンスのあり方」を検討することとしたい。

2009/09/30 第1回

[講師] 日本経済新聞社 主幹 岡部直明氏

[テーマ] 米国マクロ経済の変化と現状◇日本の政権交代◇景気はどうか◇リーマンショックの反省◇金融の規制問題◇今後の課題

2009/11/10 第2回

[講師] 参議院議員 大久保勉氏

[テーマ] 公開会社法（仮称）制定に向けて

2009/12/15 第3回

[講師] 第一生命保険相互会社 代表取締役会長 森田富治郎氏

[テーマ] 政権交代、日本のこれから、企業のこれから◇人口減少のインパクト◇少子高齢化・人口減少とどう戦うか◇新政権で何が起こるか◇企業は何を考えるべきか◇第一生命の場合

2010/03/02 第4回

[講師] 三井不動産株式会社 代表取締役社長 岩沙弘道氏

[テーマ] 都市再生と新たな価値創造◇不動産市場の現状と今後の方向性◇都市再生と新たな価値創造

内部統制研究会

座長：市野 紀生（東京ガス 会長）

副座長：鳥飼 重和（鳥飼総合法律事務所 代表）

副座長：町田 祥弘（青山学院大学大学院会計プロフェッション研究科 教授）

2009/05/25 第28回

[講師]西村あさひ法律事務所 パートナー 弁護士 武井一浩氏

[テーマ]内部統制に関連した総会対応その他経営者が留意しておくべき諸事項について

2009/07/06 第29回

[講師]東京ガス株式会社 リビング企画部 担当部長 藤井哲哉氏

[テーマ]東京ガス(株)における内部統制の評価作業◇評価の過程で確認された内部統制上の課題◇最終的な評価の集約と社内オーソライズ◇初年度「内部統制報告制度」を振り返って

2009/08/27 意見交換会（ランチミーティング）

[テーマ]内部統制報告制度、2年目への対応をどうするか

2009/09/15 第30回

[講師]株式会社プロティビティ ジャパン 代表取締役社長 神林比洋雄氏

[テーマ]内部統制報告制度2年目に向けて～米国におけるSOX法への対応を踏まえて◇米国適用4年目の状況◇わが国初年度の状況◇米国の2年目以降のチャレンジと日本企業の対応◇内部統制をいかに経営に役立てていくか

2009/10/23 第31回

[講師]日本公認会計士協会 常務理事 森公高氏

[テーマ]内部統制報告制度2年目を迎えるに当たっての課題と対策◇JICPAにおける監査人に対するアンケート調査の実施◇内部統制初年度の監査における論点◇被監査会社
に及ぼしたメリット・デメリット◇制度2年目に当たって経営者への要望事項、改善すべきと考えている事項

2009/11/30 第32回

[講師]アンダーソン・毛利・友常法律事務所 パートナー弁護士 池永朝昭氏

[テーマ]法律家から見た「重要な欠陥」の概念と課題について◇重要な欠陥に関する問題点 論点1：「重要な欠陥」の判断に至るプロセスについて混乱はなかったか、論点2：「重要な欠陥」の中身、論点3：「重要な欠陥」の開示の問題

2010/02/22 第33回

[講師]青山学院大学大学院 会計プロフェッション研究科 教授 町田祥弘氏

[テーマ]内部統制報告制度の適用初年度を振り返ってー日本取締役協会内部統制アンケートを踏まえてー

2010/03/10 第34回

[講師]金融庁 総務企画局 企業開示課長 三井秀範氏

[テーマ]内部統制報告制度導入の状況と今後の課題◇財務報告に係る内部統制の整備◇内部統制報告書提出状況◇内部統制報告制度への対応◇内部統制報告制度に関するQ&A◇重要な欠陥について◇東証適時開示◇IFRSの適応

◆ 2010年3月にて、活動終了。

※（2008年3月まで 座長：植松 富司 コニカミノルタホールディングス 特別顧問）

■内部統制研究会ワーキンググループ（専門家のための勉強会）

2009/9/8（火）10-11、10/22（木）10-11、12/2（水）10-12 発表：池永朝昭弁護士、12/22（火）15-17 発表：吉田良夫弁護士、2010/1/14（木）9-11 発表：松本賢人弁護士、1/25（月）9-11 発表：中村隆夫弁護士、2/10（水）13-15 発表：森田尚男弁護士、3/5（金）13：30-15：00 発表：青戸理成弁護士、4/21（水）10-12 発表：遠藤元一弁護士

フォーラム・セミナー

モーニングフォーラム

代 表：茂木 友三郎（キックマン 会長 CEO）

モーニングフォーラムは、朝食にサンドウィッチを頬張りながら、ゲストを囲んで経済を取り巻く環境についての「意味のある雑談」をともにし、日本と世界の来し方行く末をおもんばかるという趣旨の定例の朝会で、毎回ゲストをお招きして、話題提供をお願いし、その後にメンバーと意見交換をしようというものです。

若手の専門家の方を毎回1名コメンテーターとしてお招きし、経営者と異なった立場から、新鮮なコメントを頂戴しています。

2009/04/08 第23回

[ゲスト]財) 日本国際交流センター シニアフェロー 田中均氏

[テーマ]最近の国際情勢について

2009/06/03 第24回

[ゲスト]学習院大学法学部政治学科 教授 佐々木毅氏

[テーマ]日本の政治の動向と課題

2009/07/24 第25回

[ゲスト]キャノングローバル戦略研究所 理事長 福井俊彦氏

[テーマ]金融危機の背景

2009/09/02 第26回

[ゲスト]朝日新聞 編集委員 星 浩氏

[テーマ]現在の政局について

2009/10/21 第27回

[ゲスト]トヨタ自動車株式会社 代表取締役会長 張富士夫氏

[テーマ]人を大切にする経営「育てる文化」

2009/12/16 第28回

[ゲスト]財団法人林原美術館 館長・国立民族学博物館名誉教授 熊倉功夫氏

[テーマ]正月を迎える日本人の心

2010/01/25 第29回

[ゲスト]伊藤忠商事株式会社 取締役会長 丹羽宇一郎氏

[テーマ]日本再生の起爆剤―地方分権改革―

2010/03/09 第30回

[ゲスト]早稲田大学・前総長、大学院法務研究科・教授 財団法人日本高等学校野球連盟・会長 奥島孝康氏

[テーマ]コーポレート・ガバナンスについて最近思うこと

セミナー

経済や経営における検討課題や個別テーマを取り上げる時事セミナーを適宜実施しています。また会員の経営者だけでなく、会員企業で経営に関わる方にも広くお役に立てるよう、実務に対応したセミナーも随時開催しています

2009/07/22 第1回 経営者報酬勉強会「金融危機と経営者報酬」—欧米経営者報酬の問題点と今後の動向—

[講師] タワーズ ペリン マネージングプリンシパル 駐日代表 阿部直彦氏

[内容] はじめに：経営者報酬に関する報道◇リーマン・ブラザーズおよびAIGのCEO報酬プロキシ分析◇金融危機を踏まえた新しい考え方：報酬制度とリスク評価◇日本における経営者報酬◇今後の方向性と課題

2009/07/27 ICGN シドニー国際会議 報告

[講師] クレディ・スイス証券株式会社 マネージング・ディレクター 投資銀行本部長 大楠泰治

[内容] 機関投資家による、グローバル化の反省、新たな金融市場の展望◇株主の役割◇良いガバナンスの実現に向けて・新しい挑戦◇株主と取締役の意思疎通◇政府の規制◇国有企業の台頭◇気候変動リスク◇

2009/09/04 第2回 経営者報酬勉強会「金融危機と経営者報酬」

[スピーカー] スペンサー・スチュアート パートナー 藪野紀一氏、株式会社タントロン リサーチ ジャパン 代表取締役 イェスパー・コール氏 (アナリスト) [聞き手] タワーズ ペリン マネージングプリンシパル 阿部直彦氏

[テーマ] 日米欧の金融機関における人事・報酬・採用制度の違い、金融危機後何が起きているか、改革の動向など。また日本は何を学べば良いのか。

2010/03/11 金融庁 役員報酬の個別開示案 検討会

[進行] タワーズ・ワトソン・ペンシルベニア・インク 駐日代表 阿部直彦氏、ユニゾン・キャピタル株式会社 代表取締役パートナー 江原伸好氏

[内容] 「企業内容等の開示に関する内閣府令（案）」における役員報酬に関する開示強化について、内容・発表方法等の意見交換

研修講座

★「経営幹部のためのコーポレート・ガバナンス講座」（全6回、12講座）

コーポレート・ガバナンスの普及啓蒙に取り組む日本取締役協会では、企業経営に携わる経営幹部の皆さまに対して、コーポレート・ガバナンスの視点から、新しい経営に関する研修講座を2002年度から開設しました。本講座の狙いは、当協会会員である、日本を代表する経営トップから、企業理念、経営改革、マネジメントに期待されること、コーポレート・ガバナンスに関する考え方などをご指導いただきます。ご自身のネットワーク強化の場としてもご利用いただけます。

□2009年9月8日～12月2日 第15回講座 終了

協会外への PR 活動

発表・提言・出版

- 2009/06 独立取締役（社外取締役）制度に関する中間提言（独立取締役委員会）
- 2009/11 「上場制度整備の実行計画 2009」に基づく上場制度の整備等について意見書
- 2010/01 内部統制報告制度への対応状況 調査（第 8 回・最終回）（内部統制研究会）
- 2010/03 金融庁「企業内容等の開示に関する内閣府令（案）」意見書
- 2010/03 ディスクロージャーの改善に関する提言（ディスクロージャー委員会）

記者会見など

- 2009/05/14 2009年度会員総会・会長記者会見（帝国ホテル） 宮内義彦会長

他団体会合での講演など

- 2009/10/02 第 29 回 コーポレート・ガバナンス推進会議 @企業年金基金連合会
富山和彦副会長、独立取締役委員会委員長（講演 独立取締役制度に関する中間提言について）

他団体イベントへの名義協賛¹

- 2009/07/15～07/17 CSR/内部統制ソリューション 2009（主催：日本経営協会）
- 2010/02/17 公開会社法を考える：シンポジウム（主催：全国社外取締役ネットワーク）

¹ 主に、会員のみなさまへの情報提供などのご協力をしています。（協賛金などの支払いはありません）

一般社団法人 日本取締役協会について

我が国日本社会の豊かさを継続するには、経済の発展が必要不可欠の要素となります。その使命を担う企業において、世界のマーケットと対峙する中で、持続的企業価値を向上させるコーポレート・ガバナンスの重要性は益々高まっております。

現在、世界の経済は混乱の中にあるものの、グローバル資本主義と市場化の流れは不変であり、会計やコーポレート・ガバナンスのスタンダードは日本の企業にも大きな影響を及ぼしています。

日本取締役協会は、2002年3月に、経営者や経営に携わる人々がコーポレート・ガバナンスを中心に経営について学び、実践することにより自分の会社、ひいては日本経済を発展させる目的で設立されました。

[設立] 2002年3月13日。2002年4月1日に、有限責任中間法人格を取得。

2009年1月21日 一般社団法人に移行。

[会長] 宮内 義彦 (オリックス会長)

[主な編著] 「取締役の条件」(日経BP社 2002年)、「委員会等設置会社ガイドブック」(東洋経済新報社 2004年)、「江戸に学ぶ企業倫理」(生産性出版 2006年)、「監査委員会ガイドブック」(商事法務 2006年)、「明治に学ぶ企業倫理」(生産性出版 2008年)、「経営判断ケースブック」(商事法務 2008年)、「内部統制の責任と現状」(税務経理協会 2008年)、「大正に学ぶ企業倫理」(生産性出版 2010年)

[会員数] 正会員 188名(157社)、個人会員 44名、専門会員 17名、研究会員 23名 計 272名(2010年2月現在)

[連絡先] 〒105-6106 東京都港区浜松町 2-4-1 世界貿易センタービル 6階 電話 03-5425-2861

協会ホームページ<http://www.jacd.jp> e-mail:info@jacd.jp

本文中のご役職は講演当時のものです。また敬称略で表記させていただきますことをご了承ください。